

2021年2月16日
株式会社みずほ銀行

Thai Unionに対するサステナビリティ・リンク・シンジケートローン 契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、Thai Union Group Public Company Limited (President and Chief Executive Officer : Mr. Thiraphong Chansiri、以下「Thai Union」)が調達する、「サステナビリティ・リンク・ニンジャローン（※）」および在タイ金融機関による「サステナビリティ・リンク・シンジケートローン」の共同アレンジャーに就任し、このたび、Facility Agreement契約を締結しました。

Thai Unionは、タイを本拠とし、グローバルに事業を展開する水産加工大手企業で、世界トップシェアを誇るツナ缶をはじめとする保存食品、冷凍食品、ペットケア製品の製造・販売を主な事業としています。また、Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)の構成銘柄に7年連続選出され、2018年・2019年には食品加工業界トップとなる等、サステナビリティの分野でも業界のトップランナーであり、特に原料となる水産資源の持続可能性確保、人権保護に注力しています。

今回締結したローンは、DJSIによる高い評価の維持や温室効果ガスの削減に加え、漁船への電子モニタリング機能の設置や監視者を有するサプライヤーからの原料調達割合の引き上げを目標とし、それらの達成状況に応じて、金利が変動する仕組みです。

現在、IUU（違法・無報告・無規制）漁業は、海洋資源の持続的な利用、海洋生物の多様性保全、労働者の保護などの観点から世界的な問題となっており、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」においてもその解決について謳われています。Thai Unionの取り組みは、サプライチェーンにおける原料調達のトレーサビリティの強化により、IUU漁業の撲滅を図るものです。〈みずほ〉は、同取り組みに賛同する参加金融機関と共に、Thai Unionをファイナンス面から支援します。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、グループ全体で推進しています。総合金融グループとして知見を活かし、ESGを推進する企業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に引き続き積極的に取り組んでいきます。

<案件概要1：サステナビリティ・リンク・ニンジャローン>

組 成 金 額：USD183,000,000相当のUSD・JPY

契 約 期 間：5年

アレンジャー行：みずほ銀行、三菱UFJ銀行、アユタヤ銀行

貸 付 人：国内外金融機関計21行/庫/社

<案件概要2：サステナビリティ・リンク・シンジケートローン>

組 成 金 額：THB6,500,000,000相当のTHB・USD

契 約 期 間：5年

アレンジャー行：みずほ銀行、三菱UFJ銀行、アユタヤ銀行

貸 付 人：在タイ金融機関7行

(※) サステナビリティ・リンク・ローン：

借り手のCSR戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進させ、支援することを目指すもの。

(※) ニンジャローン：

在日金融機関による本邦投資家をメインの対象とした非日系・非居住者向けのコーポレートシンジケートローンのこと。「サムライローン」とも呼ばれる。なお、「ニンジャローン」の名称は、みずほ銀行が米国等に商標登録している。

(ご参考)

Thai Unionのプレスリリース

<https://www.thaiunion.com/en/newsroom/press-release/1292/thai-union-launches-inaugural-sustainability-linked-loan>